

とろろこんぶシステム工房

とろろこんぶ電子印鑑「承認はんこ」用
印影ファイル変換ツール
bmp2hanx Ver3.0.8
ユーザーズガイド 第1版
2017-02-12

とろろこんぶ
電子印鑑

目次

	ページ
1. 印影ファイル	3
2. インストールと起動	4
2-1. インストール	4
2-2. 起動	
3. ライセンス設定	5
4. メインダイアログ	6
5. 変換	7
5-1. ビットマップファイル（拡張子 .bmp）の準備	
6. 一括変換	9
7. 印影ファイル更新	11
Appendix A 印影ファイルの作成	13

改定履歴

	改定内容	改定日
1 版	初版	2017/02/12

このマニュアルは承認はんこ用印影ファイル変換ツール bmp2hanx Ver3.0.8 の使用法を説明したものです。

印影ファイル変換ツール bmp2hanx を利用するには 承認はんこ企業ライセンスが必要です。

1. 印影ファイル

とろろこんぶ電子印鑑「承認はんこ」を用いるには印影ファイル（拡張子 .hanx）が必要になります。

印影ファイルは 2014 年 8 月時点で、約 2600 名字の印影ファイルが用意されています。印影ファイルのリストは次の URL を参照ください。

<http://www.tororokonbu.jp/shanko/han/>

印影ファイルは印影ファイル変換ツール bmp2hanx を用いて作成することができます。印影ファイルは 128X128 ドットのビットマップファイル（拡張子 bmp）から印影変換ツール bmp2hanx を用いて変換します。変換の際、印影のビットマップ情報とともに次の情報が印影ファイルに格納されます。

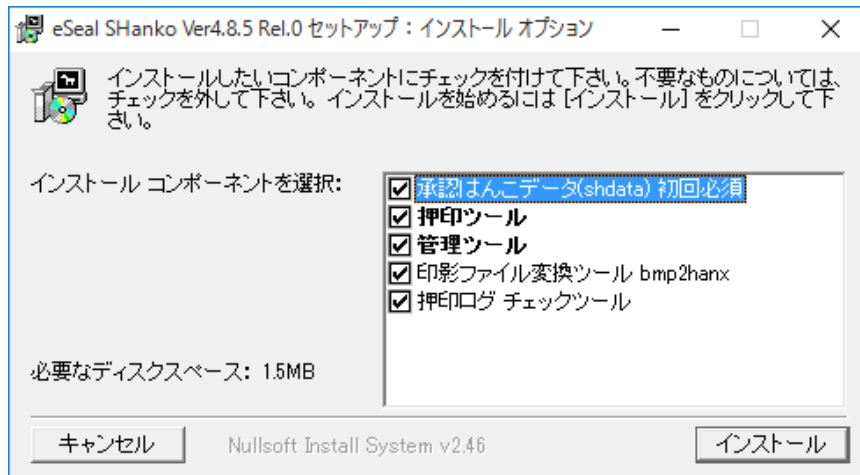
押印期限	印影ファイルに押印期限を設定します。 エンドユーザに配布する印影ファイルに有効期限を設定することでセキュリティを高めることができます。
登録キー	押印の際に印影ファイルに埋め込まれた登録キーがチェックされます。この機能によりセキュリティが確保されます。
ライセンス ID	印影変換ツール bmp2hanx に設定されたライセンス ID が設定されます。 体験版やパーソナルライセンス印影ファイルと差別化でき、セキュリティが高められます。

印影ファイルの元になるビットマップファイルの作成方法については Appendix A 印影ファイルの作成 を参照ください。

2. インストールと起動

2-1. インストール

承認はんこをインストールする際、「印影ファイル変換ツール bmp2hanx」にチェックを付けるとインストールされます。



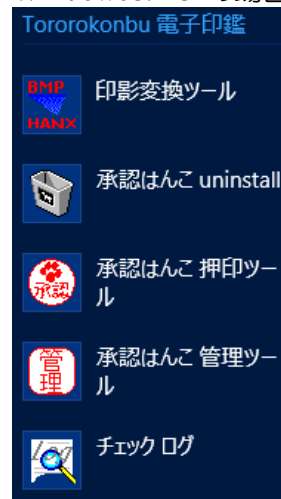
2-1. 起動

スタートメニューから「印影変換ツール」を選択します。

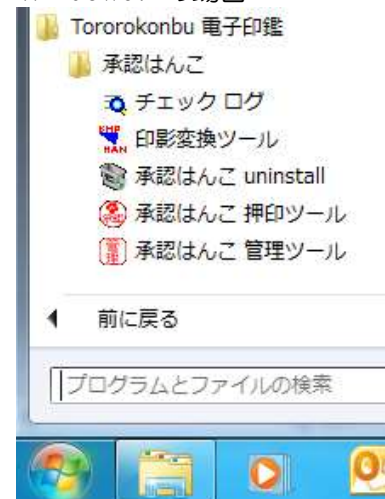
Windows10 の場合



Windows8.1/8 の場合



Windows7 の場合

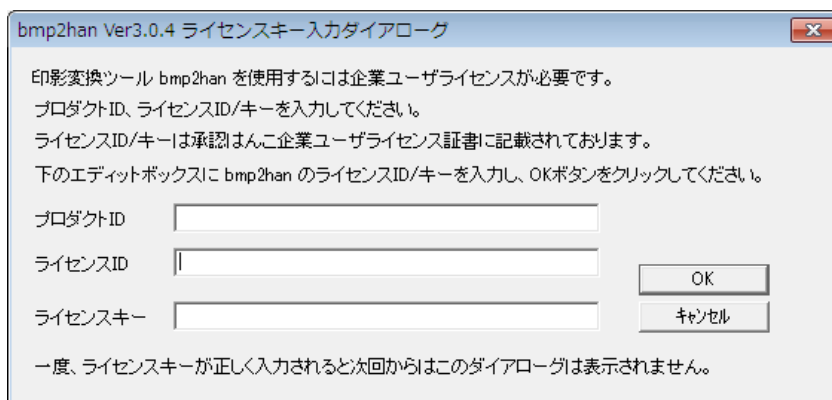


3. ライセンス設定

印影ファイル変換ツール bmp2hanx を使用するにはライセンスキーの設定が必要です。

スタートメニュー
[Tororokonbu 電子
印鑑 : 承認はん
こ : 印影ファイル
変換ツール] を選
択し、印影ファイル
変換ツールを起動し
ます。

bmp2hanx を初めて
起動した場合、プロ
ダクト ID 及びライ
センス ID/キーの入
力を求められます。
(右図)



ライセンス証書に記
載されているプロダ
クト ID 及びライセ
ンス ID/キーを入力
し、OK ボタンをク
リックしてください。
ライセンスが設定さ
れると「ライセンス
が設定されました。」
というメッセージが
表示されます。(右
図)



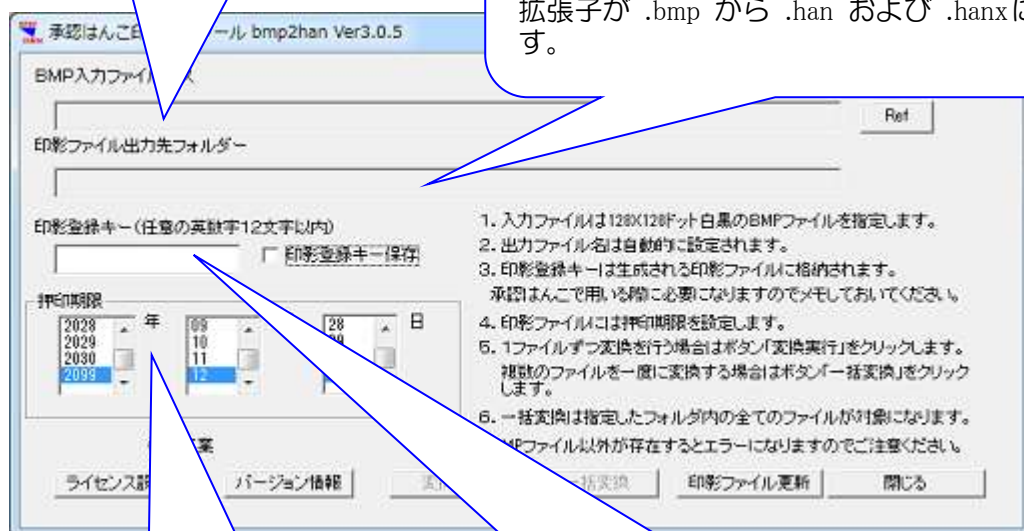
ライセンスキーが正
しく設定されれば印
影ファイル変換ダイ
アログが開きま
す。
(右図)



4. メインダイアログ

作成したビットマップファイルパスを「BMP 入力ファイル名」にセットします。ボタン「参照」を用いると便利です。

出力ファイルパスは BMP 入力ファイルが置かれているフォルダーに自動設定されます。生成される印影ファイルは BMP 入力ファイルと同じフォルダに生成されます。ファイル名は同一で、拡張子が .bmp から .han および .hanx に変わります。



印影登録キーを設定します。
登録キーは印影ファイルに格納されます。印影ファイルを承認はんこで使用する際に必要になりますのでメモしておいてください。
印影登録キーを毎回設定するのが面倒な場合はチェックボックス「印影登録キー保存」にチェックを付けます。bmp2hanx を次回起動した際、印影登録キーが今回設定したものに自動設定されます。

押印期限を設定します。
この設定した使用期限を過ぎると承認はんこでの押印が出来なくなります。

ボタン	説明
変換実行	1 ファイル単位で変換が実行されます。
一括変換	複数の印影ファイルを一度に変換する際に用います。
印影ファイル更新	印影ファイルの押印期限を再設定します。
ライセンス設定	ライセンスを再設定する際に用います。
バージョン情報	バージョンが表示されます。
閉じる	終了します。

5. 変換

1つのBMPファイルを印影ファイルへ変換する手順について説明いたします。

5-1. ビットマップファイル（拡張子 .bmp）の準備

印影ファイルの元になるビットマップファイル（BMP ファイル）を用意します。

128X128ドット白黒2値のビットマップで印影を作成してください。

作成方法について詳しくは「Appendix A 印影ファイルの作成」をご覧ください。

下の図は「籠橋」という印影をペイントブラシで作成しているところです。



作成したビットマップファイルは2110バイトになります。

ファイルのプロパティを開き、サイズが2110バイトになっていることを確認してください。

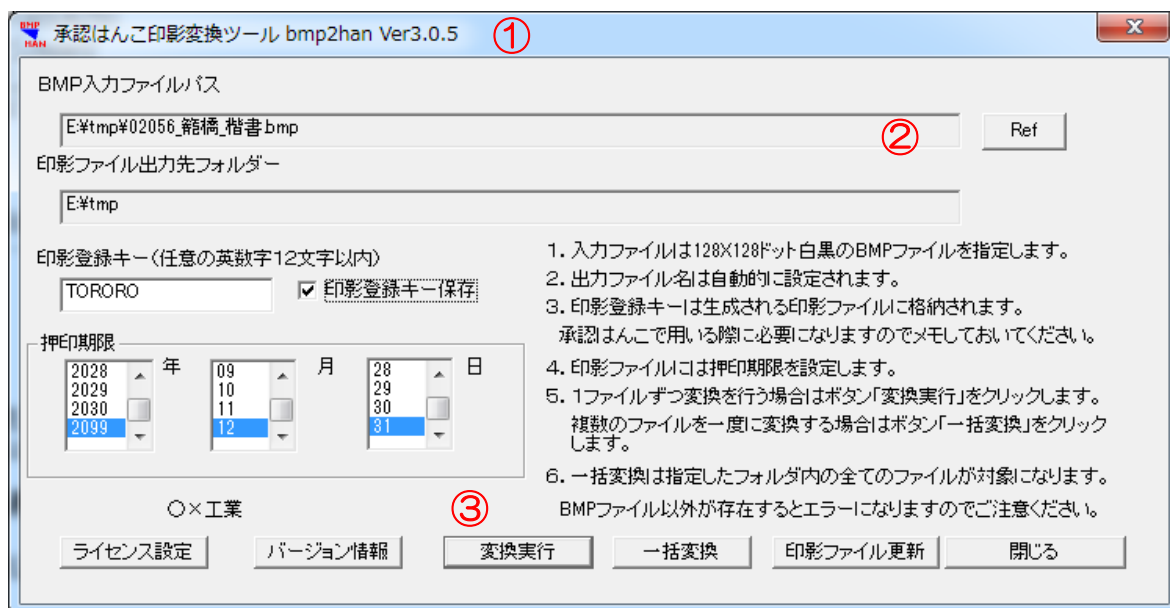
2110バイトになっていない場合は、

- ・モノクロ2値になっているか
- ・サイズが128X128 になっているか

を確認してください。



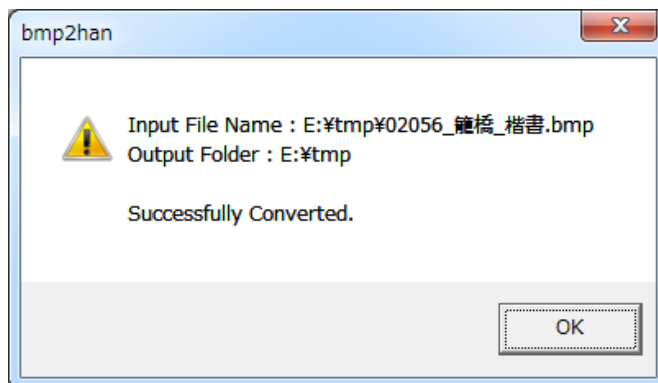
5-2. 変換



- ① 承認はんこ印影変換ツール bmp2hanx を起動します。
- ② ボタン[Ref]を用いて BMP 入力ファイルパスを設定します。
- ③ ボタン[変換実行]をクリックします。

右のメッセージボックスが開けば変換は正常終了しています。

印影ファイル出力先フォルダーに印影ファイル（拡張子 .hanx）が生成されています。



6. 一括変換

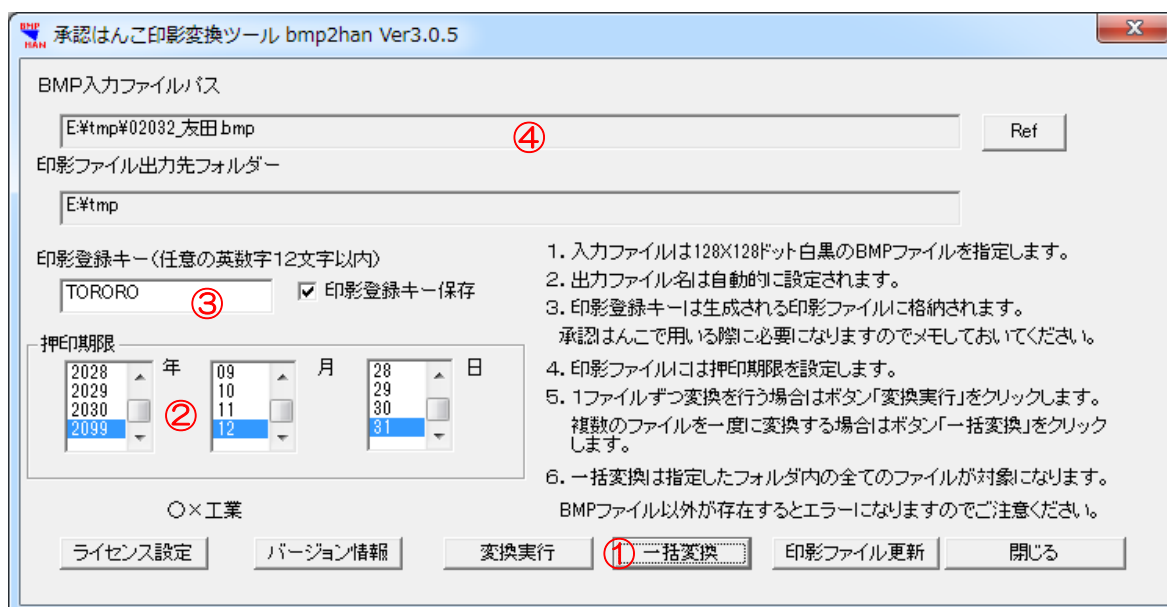
複数の印影ファイルへの変換をまとめて一度に行うことができます。

手順1) 変換するビットマップファイルを同一のフォルダ下に置きます。

BMP ファイル以外はこのフォルダー内に置かないでください。BMP ファイル以外のファイルがあると、エラーになりますのでご注意ください。

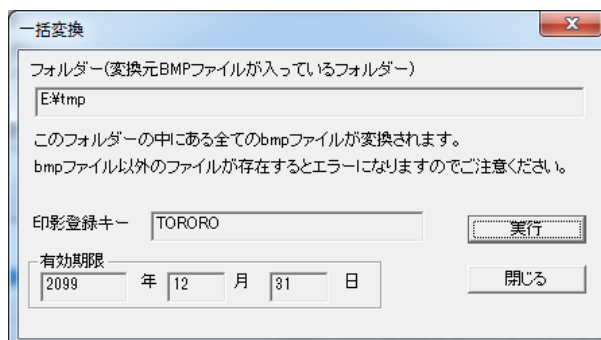
手順2)

- ① 任意の1つのビットマップファイルパスを「BMP 入力ファイル名」にセットします。
どれでもかまいませんので1つ選んでください。



- ② 印影登録キーを設定します。
- ③ 押印期限を設定します。
- ④ ボタン「一括変換」をクリックします。

手順3) 右の確認メッセージボックスが開きますのでボタン「実行」をクリックします。



手順4) 変換が正常に終了すると右のメッセージボックスが表示されます。



全ての BMP ファイルは XML 形式の印影ファイル(拡張子 .hanx) に変換されます。

7. 印影ファイル更新

印影ファイル(拡張子 .han および 拡張子 .hanx)の押印期限を再設定することができます。印影ファイルの元になるbmpファイルがなくても印影ファイルの押印期限を再設定することができます。

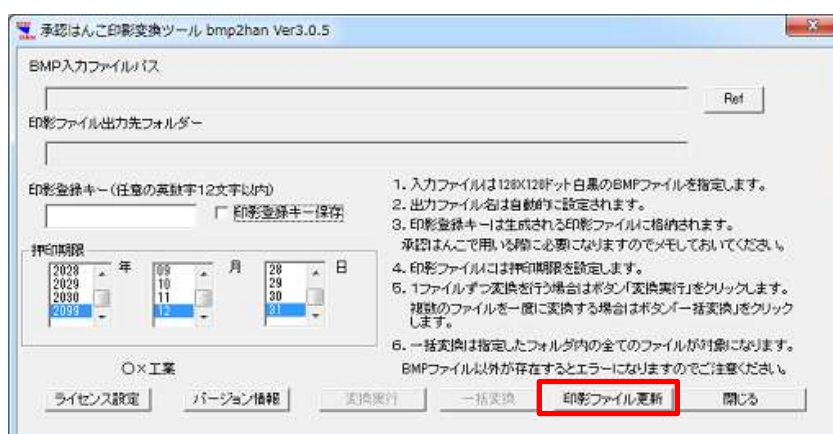
ただし、押印期限を延長できる印影ファイルはライセンス ID が一致する場合だけです。印影ファイルに保持されているライセンス ID が bmp2hanx に設定されているライセンス ID と一致した場合のみ、押印期限を再設定することが可能になります。

押印期限が再設定された印影ファイルはファイル名に _new がついて保存されます。元の印影ファイルには変更は加えられません。

印影ファイルとしてバイナリー形式の印影ファイル(拡張子 .han)を設定した場合は、バイナリー形式の印影ファイル(拡張子 .han)と XML 形式の印影ファイル(拡張子 .hanx) の両方が生成されます。

印影ファイルとしてXML形式の印影ファイル(拡張子 .hanx)を設定した場合はXML形式の印影ファイルのみが生成されます。

ボタン[印影ファイル更新]をクリックします。
(右図)



押印期限設定ダイアログが開きます。

ボタン[Ref]を用いて押印期限再設定を行う印影ファイルを選択します。

ボタン「チェック」をクリックします。
(右図)



ボタン[実行]をクリックします。

印影ファイルのライセンス ID が bmp2hanx に設定されているライセンス ID と一致しない場合は「実行」ボタンはアクティブになりません。

印影ファイルの押印期限が変更され、ファイル名に _new がついて保存されます。

Appendix A 印影ファイルの作成

印影ファイル作成の大まかな手順

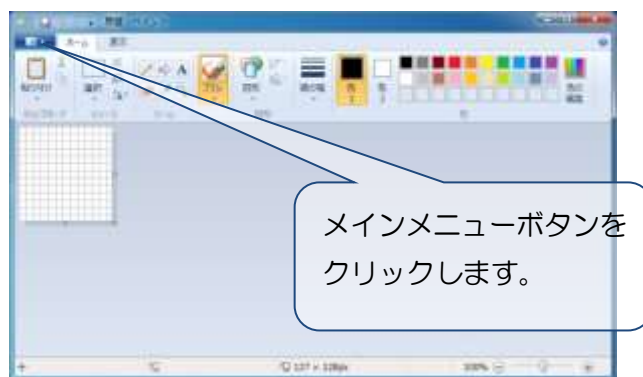
- 1) 印影をビットマップファイル(.bmp)として作成します。
サイズ 128X128 ピクセル、白黒2値（モノクロ）で作成します。
- 2) 作成した BMP ファイルを 印影ファイル(.han)に変換します。
変換には印影ファイル変換ツール bmp2hanx.exe を用います。

印影をビットマップファイルとして作成します。

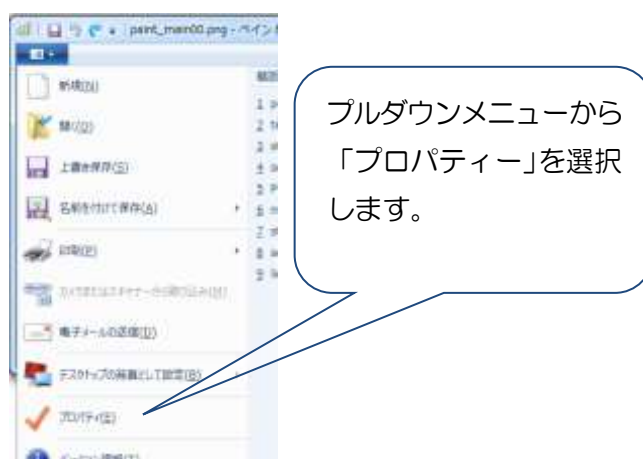
ビットマップファイルの作成は Windows に標準装備されている「ペイント」を用いることができますが、イラストレータなどの他のアプリケーションを用いてもかまいません。以降の説明では「ペイント」を用いた場合について説明いたします。

Windows のスタートメニューから「プログラム・アクセサリ – ペイント」を選択し、ペイントを起動します。

メインメニューボタンをクリックします。



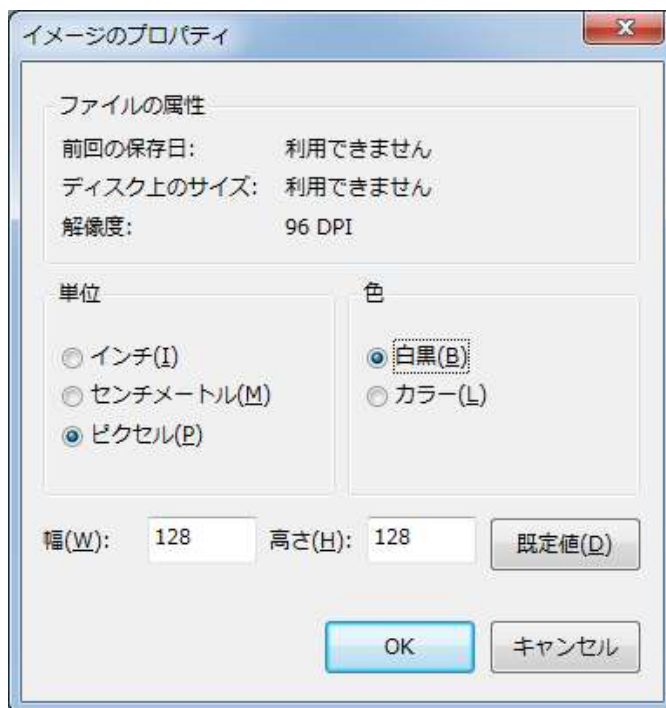
プルダウンメニューから「プロパティ」を選択します。



キャンパスの色とサイズを次のように設定します。

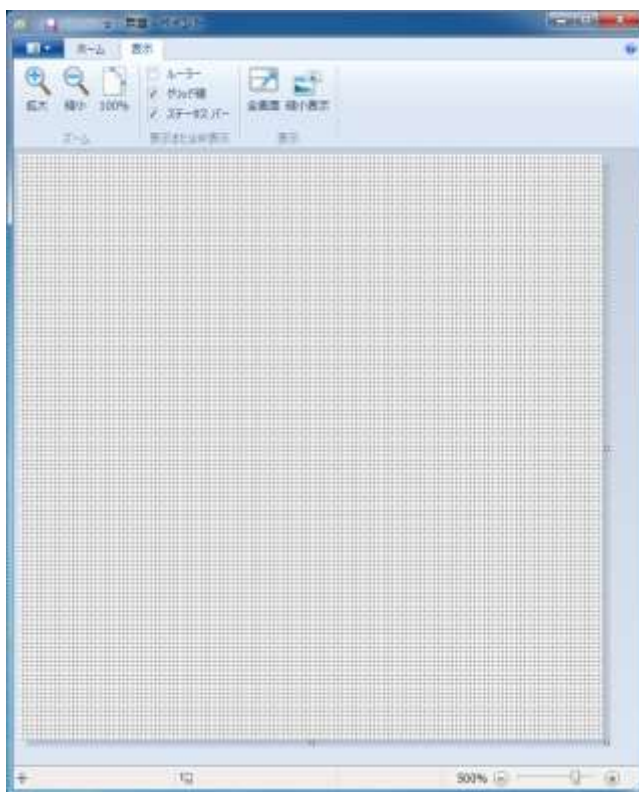
幅：128ドット
高さ：128ドット
単位：ピクセル
色：白黒

注) 印影変換ツール *bmp2hanx* 付属の *TEMPLATE.BMP* を開けば自動的に上記の設定になります。



印影の描き方は様々ですが、一般的な方法を説明いたします。

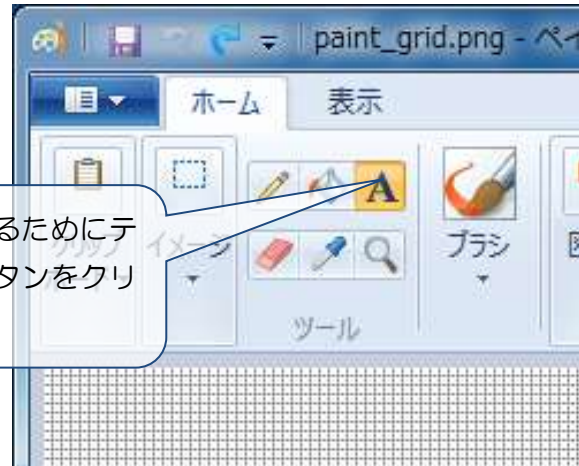
表示タブを開き、適当に拡大し、グリッド線を表示すると作業がやり易くなります。



文字を入力するためにテキスト入力ボタンをクリックします。

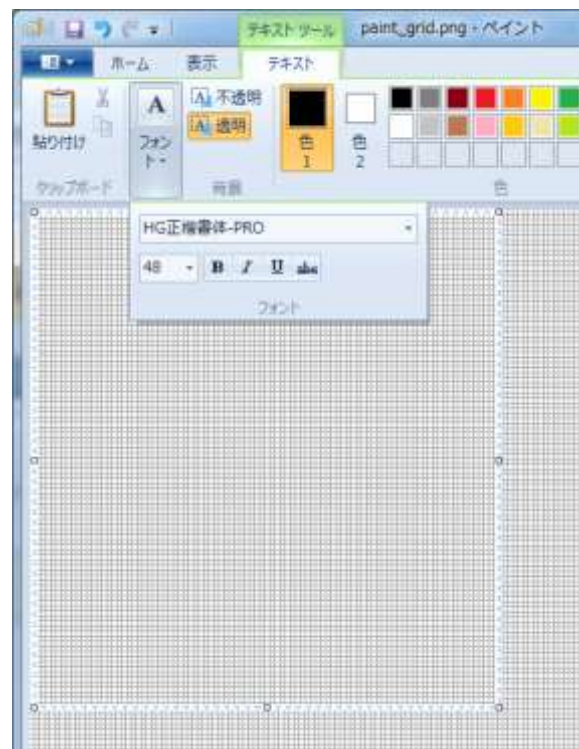
。

文字を入力するためにテキスト入力ボタンをクリックします。

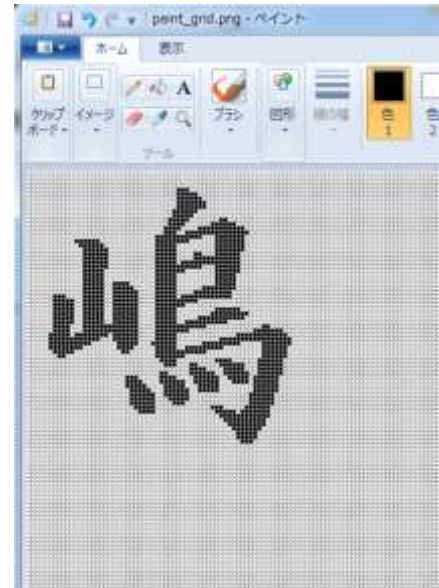


文字を入力するエリアを指定し、フォントと文字サイズを選択します。

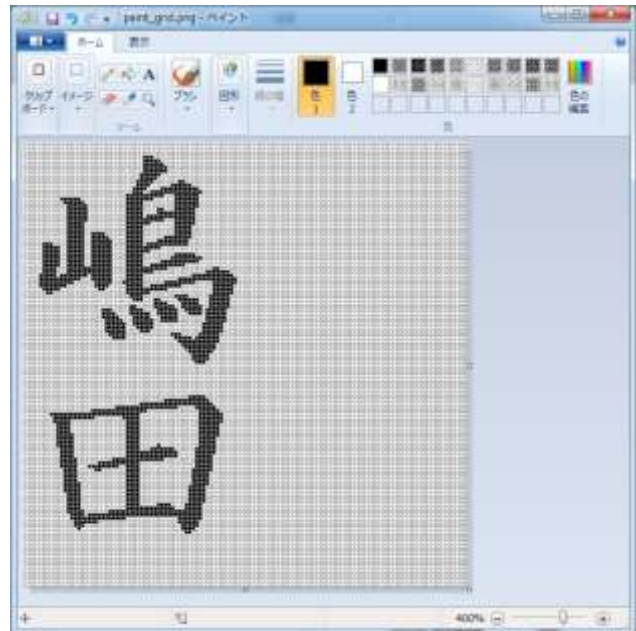
2文字の印鑑でしたら48ポイント、3文字の印鑑でしたら33ポイントぐらいが適当です。



1文字目を入力します。

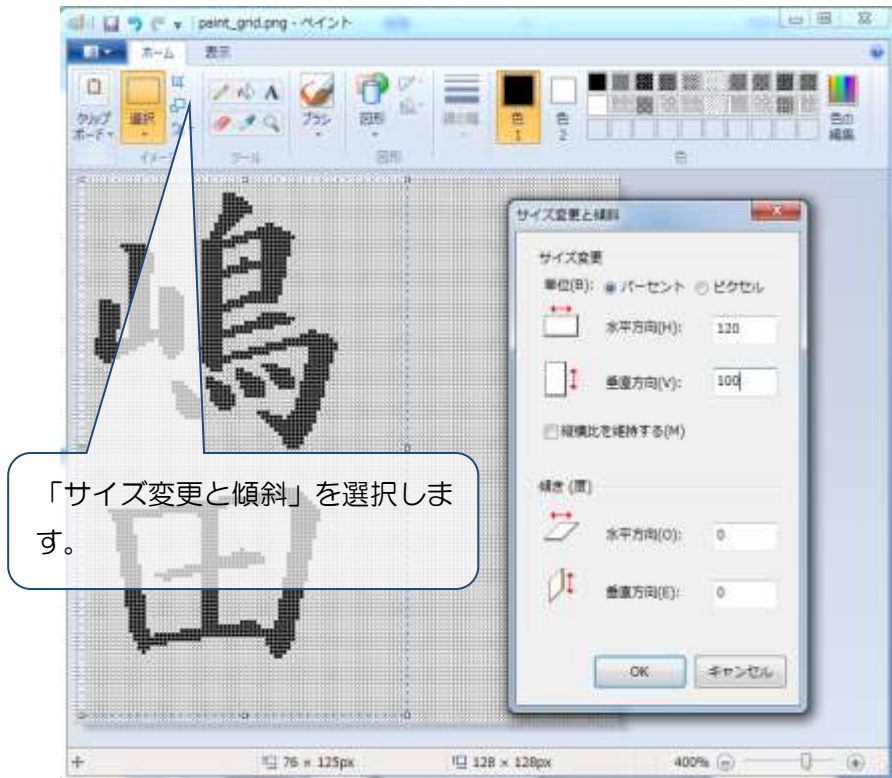


1文字目の下に同様の操作で2文字目を挿入します。

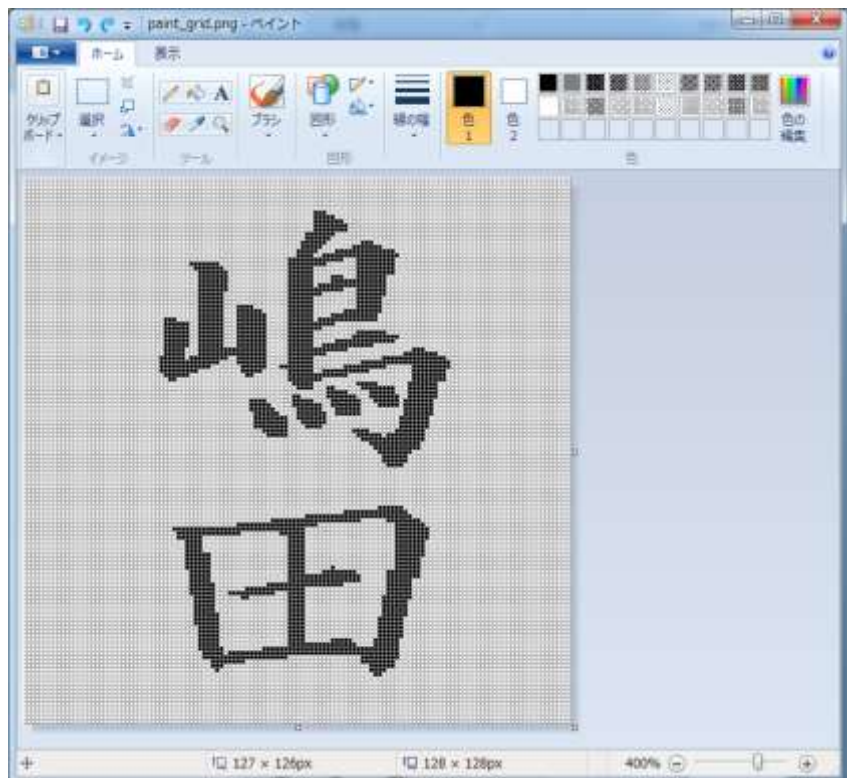


挿入した2文字を囲みます。

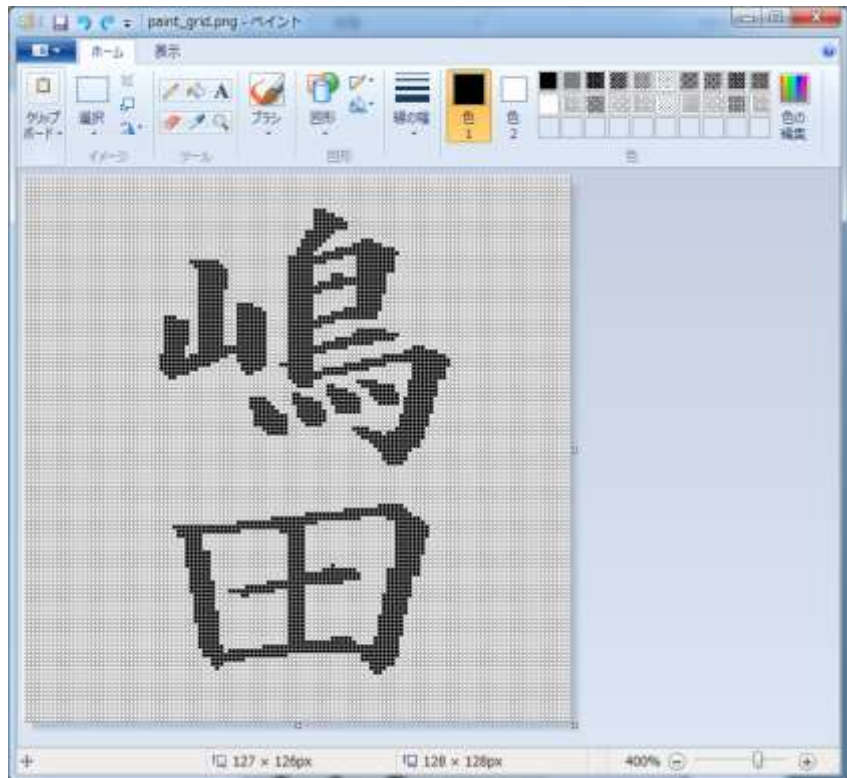
「サイズ変更と傾斜」を選択し、文字を適当に横伸ばしします（任意）。



文字を中央に移動し、文字間を適当に詰めます。

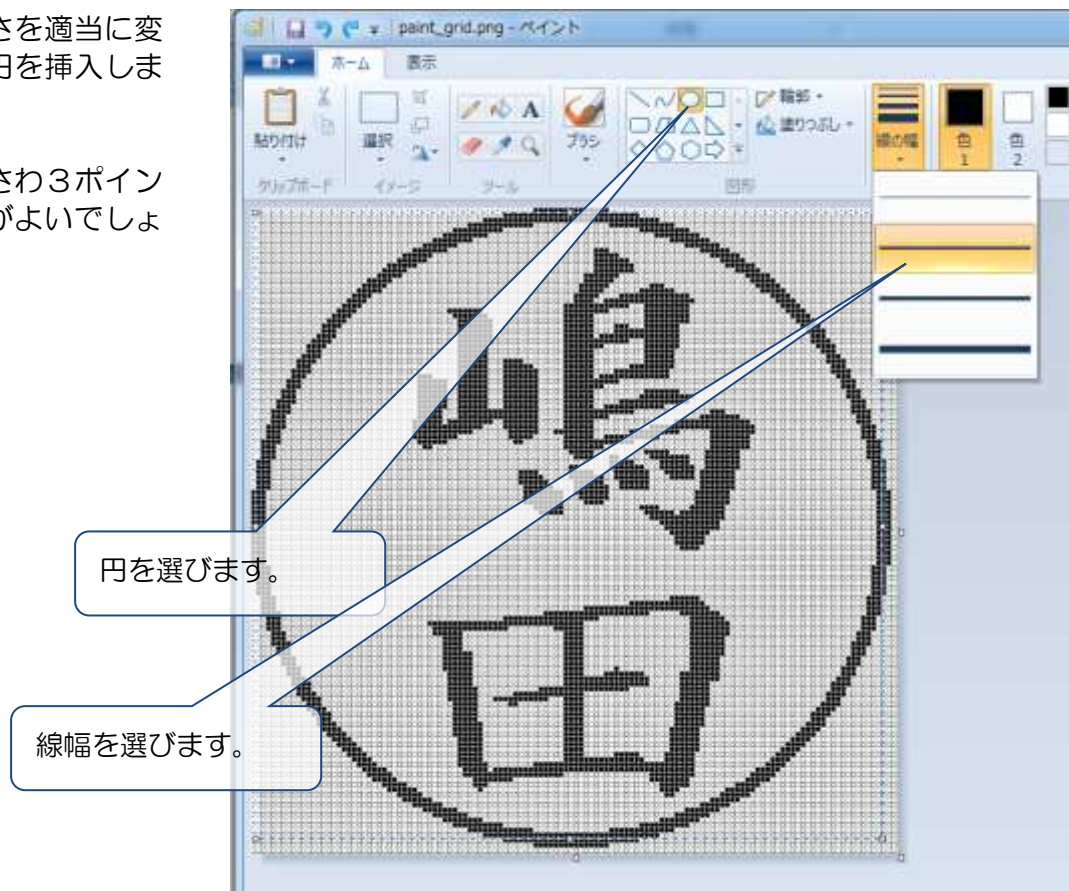


文字を中央に移動し、
文字間を適当に詰めます。



線の太さを適当に変更し、
円を挿入します。

線の太さわ3ポイント
程度がよいでしょう。

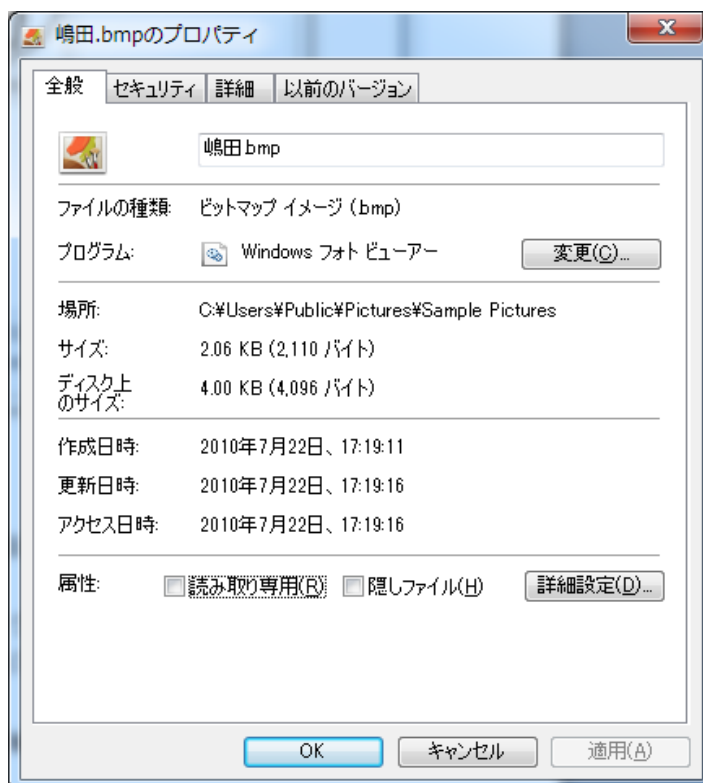


モノクロビットマップとして保存します。



ファイルサイズは2110バイトになっているはずです。

念のため確認します。



これで、印影ファイルの基になる印影ビットマップファイルは完成です。印影ファイル変換ツール bmp2hanx を用いて印影ファイルに変換することができます。

おわり

とろろこんぶシステム工房